

# Be a gift to the world

世界へのプレゼントになろう

2015～2016年度RI会長

K.R. ラビンドラン



第2780地区  
大磯ロータリークラブ

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

★事務所：神奈川県中郡大磯町国府本郷546大磯プリンスホテル内 TEL：0463-61-1111(木) TEL/FAX：0463-36-2255

★例会：毎週木曜日 12:30～13:30 大磯プリンスホテル TEL：0463-61-1111 FAX：0463-61-6281

会長 河本 親秀

会長エレクト 百瀬 恵美子

幹事 大藤 勉

## 第2345 例会

平成27年10月8日 No.13

■司会：田中 敏治

■点鐘：河本 親秀

■合唱：我等の生業

◇プログラム・10月15日：斎藤正淳さん ・10月25日：地区大会 ・10月29日：新宅 文雄さん

◇出席報告

例会	会員数	出席数	出席率	メークアップ	修正出席率
2345回	17(15)	8	53.33%	—	—
2343回	17(15)	8	53.33%	—	—

◇欠席者(7名) 小林、宮澤、石山、笹尾、原、太田、野田さん

◇メークアップ(0名)

◇ゲスト

- ・小野良太郎さん(秦野中、地区米山奨学・米山学友委員長)
- ・サク・セイ・ナンさん(米山奨学生)
- ・アルウィン・スプリアント君(米山奨学生)

◇ビジター

- ・杉山達哉さん(小田原中)

◇米山奨学金10月度奨学金授与：



アルウィン君：9月26日-27日に米山学友会で三島の米山梅吉記念館へ行ってきました。そこで米山奨学金の歴史を学びました。山中湖のホテルに宿泊、ロータリアンと米山奨学生との交流があり、お互い知り合うようになりました。27日には富士山の5合目で写真を撮ったり買い物したりしました。帰り道宇

宙開発研究所 (Jaxa)に立ち寄り、研究の歴史、特に隼=人工衛星=の凄さを聞いてきました。皆でご飯を食べて笑って楽しい時間でした。

◇おめでとうございます



結婚記念日祝：

守屋紀忠さん

10月3日にお花を頂きまして有り難うございました。よく数えてみたら45-46回目？…。それだけ歳を取ったか…。



敬老祝：

斎藤正淳さん  
私の父がやはり医者をやっています。82才で亡くなっております。



で潰れる前に亡くなりました。

父の年まで生きられるかなと思っていましたが、来月83才になります。今度は祖父92才が目標です。祖父が生まれたのがペルリが来航した年＝嘉永6年＝に生まれ、亡くなったのが1944年。ペルリが来て日本が勃興して来たのを見て、日本が敗戦

### ◇会長報告

### 河本親秀会長

#### 1. 理事会報告 (10月1日)

(1) 11月1日の大磯宿場まつりを11月5日の例会と振り替えます。

(2) 大磯観光協

会が駅前に湘南発祥の地碑建立されるに付き5万円を寄付します。寄付者の名が碑に刻まれます。

(3) 年次総会を12月17日、夜間例会で行う。

(4) プリンズホテル改造で事務所を来年1月には移転する必要があります。現在、移転先について、野田支配人が本部と折衝して下さっています。不調の場合はこちらで緊急に探さねばなりません。

2. ワイアナエ・コーストRCのケイ・バックスターさんから同クラブ出身のナラニ・プリンDGNが大磯のメンバーと会いたいと、ソウル国際大会での日程を知らせてこられました。こちらのスケジュールが決まり次第、打ち合わせしたいと返信しました。

3. 大磯クラブの創立会員である大橋敏文さんがアメリカの家族を訪問中8月7日早朝突然の発作で急逝(享年92才)されたとのご家族からの通知/挨拶状が参りました。現会員で知っておられる方は少ないと思いますが、大磯のNCRの工場長でありました。

4. 宮澤会員は現在超多忙で出席できないので、代理に井上一さん(星槎グループの星槎大学学長、国際学園理事長、世界こども財団理事)を卓話に派遣下さることになりました。11月12日の卓話をお願いしました。

5. 11月は財団月間ですので地区に卓話を依頼しました(11月19日希望)。



6. 皆さんに配布しましたが、07年以降に退会された会員の名簿を作成しました。13名居られます。今後皆さんと相談して声かけをして行きたいと考えておりますので、宜しくお願いします。

### ◇幹事報告

### 大藤勉幹事

#### 1. 回覧：

(1) 10月25日の地区大会で新会員の同窓会、対象2014年7月～15年6月入会者

(2) クラブ研修リーダーセミナー：11月18日14:00～18:30、藤沢商工会館ミナパーク

(3) R財団100周年記念プレコンサート：11月3日(火)14:00ヨコスカ・ベイサイド・ポケット

(4) 職業奉仕月間(1月)卓話派遣お知らせ

(5) 神奈川県ロータリアン・テニス大会：11月10日、湘南ローン・テニスクラブ

2. 大磯プレミアム商品券＝1冊500円券13枚綴)6,500円で7,800円の買い物ができる＝がかなり在庫があります。3枚は地元商店街で消費する。残り9枚はコンビニ、スーパー等で使える。ご希望者は申し込み下さい。



### ◇委員会報告

#### ☆スマイルボックス

#### 百瀬恵美子さん

10月8日は私がロータリー入会10周年記念日です。鈴木さんからバッジを付けて頂いたことを鮮明に思い出しました。これからも宜しくお願い致します。



・小野良太郎さん(秦野中)：本日はお世話になります。サクさんを連れてまいりました。よろしくお願いたします。

・河本親秀さん：地区米山記念奨学会委員長小野良太郎さん、米山奨学生サク・セイナンさん卓話にお出で頂き有難うございます。アルウィン君ようこそ！守屋さん結婚記念日おめでとうございます。

・井上浩吉さん：小野良太郎さんようこそいらっしゃいました。守屋さん結婚記念日おめでとうございます。

・守屋紀忠さん：お花ありがとうございました。

・新宅文雄さん：米山関係者ご一同様ようこそいらっしやいました。卓話よろしく願い致します。守屋さん結婚記念日おめでとうございます。

・田中敏治さん：サク・セイナンさんようこそいらっしやいました。卓話、宜しく願いします。アルウィンさんようこそ。守屋さん、斎藤さんおめでとうございます。

・百瀬恵美子さん：サクさんようこそおいで下さいました。宜しく願いします。小野さんアルウィンさん、杉山さんようこそ。守屋さん御結婚記念日おめでとう。わたくし、本日入会10周年記念日です。これからもよろしくおねがいします。

### ☆R財団DDFセミナー報告

守屋紀忠さん：10月3日DDFの説明会があり、出席しました。事例発表や過去3年間地区で決定されたプロジェクトの紹介がありました。又本年度の資金が余っているのので、3月31日までに完了する事例であれば資金を出しますと言う話がありました。



#### 事例紹介：

伊勢原平成RC：地域の人達を巻き込んで養護学校の子供達に音楽を聴かせる「みんなの音楽会」

小田原RCの例：就労支援マニュアル＝難民の就職支援＝NPOと組んで作成。又職業紹介的な事を続けて行くとのこと。



## ◇卓話

### ◆◆◆米山記念奨学会の歴史と

#### 奨学生の活動について◆◆◆

地区米山奨学金・米山学友委員長

小野良太郎さん



米山奨学金は日本最大の奨学制度です。日本には123の奨学団体がありますが、その最大を誇っております。累計18,648人の奨学生を支援してきました。1952年東京RCが米山梅吉氏の偉業を讃えて米山基金の設立を呼びかけました。当時初任給が8千円くらいでしたが会員一人当たり1万円、270万円の寄付が集まり、そして1954年タイからの留学生ソムチャード氏に奨学金を授与したのが初めです。1957年全国組織「ロータリー米山奨学委員会」を結成、1967年「財団法人ロータリー米山記念奨学会」が設立され、2012年公益財団法人となりました。

米山奨学生度はお金だけでなく、世話クラブ制度、カウンセラー制度は他の奨学団体にはない制度で、経済援助だけでなく、ロータリアンとの交流を通じてロータリーの精神を学んで、世界の架け橋になるリーダー/人材になって頂く事を願っています。

多い時には年間1,000人を超えた奨学生数が723人まで減りましたが、最近寄付が増加してきて来年は740名に回復する予定です。

中国人留學生が一時60%を超えることがありました＝日本への留學生の60%せいは中国人學生です＝が2012年度は50.8%、13年度は43.9%、14年度は40.7%、15年度は39.7%となっています。

＝以下卓話の内容は添付のスライドと配布された米山記念奨学事業豆辞典をご覧下さい＝

## ◇ 卓 話

### ◆◆◆ 留 学 生 活 と 米 山 奨 学 金 ◆◆◆

米山奨学生 サク・セイナンさん



皆様、こんにちは。

大和中クラブに所属しています、奨学生のさくせいなんです。

本日は30分ほどの卓話をさせていただきます、どうぞよろしくお願いいたします。

本日の卓話のトピックは「留 学 生 活 と 米 山 奨 学 金」です。

パワーポイントも参考に見ていただければと思います。

こちらが卓話の目次です。(パワーポイント) 時間軸に沿って話させていただきます。

まずは、**私の生い立ち**です。

私は、1993年の7月に、中国の吉林省吉林市で生まれました。

両親ともに中国人です。

6歳の時に地元の小学校に入学しました。

その小学校に半年通って、一年生の冬休みに両親の仕事の都合で北京に引っ越して、北京の小学校に転入学しました。

2005年に北京の小学校を卒業して、地元の中学校に入学しました。

次に**来日の経緯**について説明します。

2006年の8月末、友達に13歳の誕生日を祝ってもらった一か月後に、私は両親と一緒に日本に来ました。実は3歳の時に一度日本に来たことがあったのですが、幼稚園に半年通っただけで中国に帰ったので、ほとんど記憶にありません。

今回の来日を決めたのも本当に急で、来日の一か月くらい前に親に日本のいかないかと聞かれて、うん、行くと答えて、そこから急いで手続きを進めて、一か月後には日本にいました。

ですので、自分の名前すらわからないまま公立の中学校に編入学して、私の留学生活を始めました。

**日本に来た理由**はいくつかあります。

先ほど私の生い立ちのところで自分は吉林省で生まれたと説明しました。

吉林省は中国の北東部に位置して、旧満州にあたるところで、反日派と親日派に激しく分かれています。日本の名残が強く、日本語を話せる人も多いです。

私の両親は中学時代にたまたま学校に日本語が話せる先生がいらしたので、外国語は英語ではなく日本語を勉強したそうです。

そのまま大学まで日本語の勉強を続けて、卒業した後は日本の仕事を請け負う会社に入ったそうです。その関係で、両親はしょっちゅう日本に出張して、私が三歳の時に日本に来たのもそれが原因でした。私は日本に来るまで両親と一緒にいる時間が少なかったため、自分が日本に行けば両親と一緒に暮らせると思っていたのが私の中の一番の決め手だったのかもしれない。

日本に来た後になぜ私を日本に連れてきたかを両親に聞いたら、どうも前から計画していたらしいです。だから中国では7歳から小学校に入学するところを、わざと日本に合わせて一年早く私を小学校に入れたらしいです。

毎回出張で日本のお土産を持って帰ってきたのも、家の中に日本の置物や食べ物であふれていたのも、よく日本の話をしたのも私に日本に親近感を持ってもらうためだったらしいです。

しかし、中学校に入って、寝る時間もなく勉強ばかりしていた私を見て、来日の計画を早めたらしいです。

よく日本の話を聞かされていたので、日本にとっても興味があって、言葉ができない不安よりも楽しみが多くて、2006年の8月、私はわくわくして日本に来ました。

**私の中学生活**です。

私が通った江戸川区立西葛西中学校は公立の中学校で、外国人は私を入れて2人しかいませんでした。もう一人は日本語がペラペラでした。

言葉が通じなかったため、授業もわからないし、友

達もできなくて、最初のころはただただ席に座ってボーっとしていました。

正直つらかったです。

友達ができて、授業も半分くらい理解できるようになったのは一年くらいかかりました。

中学の後半は部活にも入って、英検や漢検も受けて、塾にも通って、普通の日本人の中学生と同じような中学生を送っていました。

ちなみに部活はガーデンニングと手話をやっていました。

### 高校についてです。

高校は在京外国人入試で都立国際高校に入りました。中学と違って、外国人や帰国子女が多い学校で、勉強よりも部活やボランティアなど、やりたいことをやり放題なところでした。

勉強ばかりの中国の詰め込み式教育と違って、各々が個性を伸ばすところでした。

バドミントンやお琴、バンドやボランティアなどなど、勉強以外ことで忙しかった三年間でした。

国立の大学に入るために塾に3年間通いましたが、大学を選ぶとき親に初めて反抗して、自分で慶應義塾大学を選びました。

### 大学生活について。

来日した当時、日本で水道水が直接飲めることや春に黄砂が飛ばないことに驚いて、日本と中国の環境の違いを感じて、環境問題に関心を持ち始めました。環境政策をやりたい、中国の環境を改善したいと思って、慶應義塾大学の総合政策学部を選んで、大学に入学しました。

大学では環境関係の授業を中心に履修し、普通は3年または4年からゼミに入るところですが、私は入学してすぐにゼミに入って、今は環境工学環境政策を専門とする先生のゼミと中国の社会を研究している先生のゼミ二つ掛け持ちしています。

サークルは学園祭の実行委員会をやっていました。

### 奨学金事情です。

国立しか許さなかった両親に私は慶應の学費だけ出していただいで、生活費は自分で負担すると交渉して、なんとか入学を許可してもらいました。

もちろん自分でもアルバイトをしていますが、それでも150万近くを稼ぐことは無理に近いです。

コンテストに参加して賞金をもらうや、奨学金をいただくなど、ほかの方法で生活費を工面しました。大学一年の時は、高校の時の成績を基に選考を行っ

た慶應義塾大学給費奨学金、15万円をいただきました。

大学二年の時は、JASSOの学習奨励費、毎月4万5千円と、一年生の時の成績を基に選考を行った慶應義塾大学給費奨学金を受給していました。運よく学年の最優秀学生に選ばれて、通常の15万円に30万円プラスされて、計45万円をいただきました。

そして大学三年になって、ようやく米山奨学金に手が届きました。

米山奨学金は数多くある奨学金の中でも特に人気が高く、私が選ばれて本当に光栄に思っています。

### 米山奨学生になってから。

米山奨学生になってからまず一番先にやったことは学校の近くに引っ越しました。

通勤に3時間ほどかかっていたので、本当に不便でした。

米山奨学金の受給をきっかけに学校まで歩いて10分のところに引っ越しました。

バスや電車の時間を気にせずに夜中まで学校で勉強できることが本当にうれしかったです。

次に電子辞書を購入しました。

私は第二外国語でフランス語を勉強していますが、電子辞書が高くてなかなか手が出せませんでした。奨学金をいただいて、即購入しました。

さらに、アルバイトの時間を短くしました。

アルバイトは高校からずっと続けていて、今まで10類以上のアルバイトをしたことがあります。自分の力で稼げるのはうれしいですが、4年しかない貴重な時間をアルバイトに過度に費やすのは勿体ないです。米山奨学金のおかげでアルバイトの時間をだいぶ減らすことができました。

平日は学校で助手をして、土日は半日ずつ働いていました。

大学三年に上がって、土日も入れてほぼ毎日学校に行っていました。

研究室にいる時間と家にいる時間どっちのほうがかいかわからないほど、研究室にこもっていました。米山奨学金のおかげで勉強に専念することができて、本当に感謝しています。

米山奨学金は多額な奨学金をいただくだけではなく、カウンセラーがついて、そしてクラブに所属して、例会に参加することができます。このことで、所属感が生まれて、何かがあるときに相談できる人がいらっしやると思うだけで、心強いです。

さらに、クリーンキャンペーンや研修旅行、地区大会などのイベントも充実していて、ほかの留学生や、

学校を卒業した留学生の先輩たちと交流することができます。お互いに悩み事を相談したり、励ましあったり、情報交換したりして、さらに友達が増えました。

#### これからの目標。

卒業を目の前にして、私は就職ではなく、大学院に進むことに決めました。

自分がまだまだ未熟で、環境問題を改善できそうにないと感じたので、さらに大学院に進んで、もっと深く勉強したいと思っています。

振り返ると、私が日本に来て早くも9年目に突入しました。人生の半分近くを日本で過ごしていることになります。日本は私にとってもう第二の故郷を通り過ぎて、母国の中国とほぼ同じくらいの重みを占めています。日本を自分の国のように感じていることや日本人の習慣や考え方が身についたことは留学において何よりの収穫だと思います。

私は大学から日本に来ている留学生より長く日本に住んでいます。そのことによって、日本はただの留学先からもう一つのふるさとと変わって、友達もたくさんできて、そしてなにより、物事を考えるときの視野が広がりました。日本に長く住んでいないと日本人の考え方や習慣を理解することは難しいです。日本の礼儀が正しい、マナーが良い、しっかりしているなど良い一面も、いじめや排他的でオープンじゃないなどよくない一面も身を以て体験しています。日本で教育を受けて、進んだ技術を自分の国に持って帰るだけの留学生は勿体ないと思います。日本人の考えたかたや国民性こそ私たち留学生が学ぶべきものだと思います。几帳面な性格、思いやりの精神、グループワークができる協調性などなど、これらこそ私が日本での留学生活の中で得たかけがえのないものです。

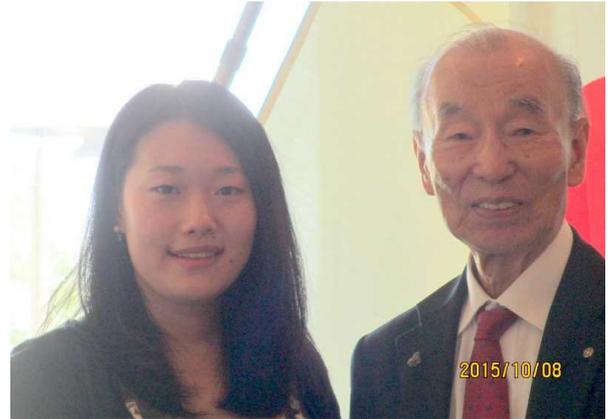
これからはグローバルな人材を目指して、日本と中国をより良い国にしていきたいです。

どうぞお支援をよろしく願いいたします。

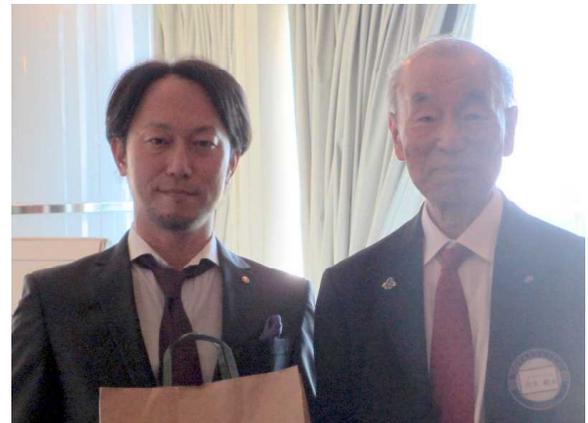
ご清聴ありがとうございました。

(注：サク・セイナンさんから頂いた原稿原文のまま掲載しました)

作成ナンさんにお礼手交：



小野良太郎委員長にお土産贈呈：



以 上